日撃者の談(上海十 一日發頭通)目撃者の一人安 部久子さん(二九)は語る わたしは高淵さんと肩をな らべ、ゲイカル路の方から桃

【神戸國通】 青島日本商議會 明田邊都太郎氏は外務省及び 日本高工會議所を訪問、在留 日本人の權益難纏に關する陳 戸入港の泰山丸で來着直ちに 戸入港の泰山丸で來着直ちに

朝香宮附仰付けらる

宜

寧夏他三省の

天氏(イリ

は心配

發給停止

直ちに嚴重抗議

・お崎領事は事件の經過を説明・お崎領事は事件の經過を説明

烈を極む

(東京國通)朝香宮附別當東 本で宮内省で整衡中であつた が、いよいよ左の如く陸軍中 静森田宣氏が任命された、同 中將は山口縣の出身、昭和九

車で脚連すること」なつたが、都合によりこれを中止し、十二日午後十一時酸列止し、十二日午後十一時酸列

別當後任

吳上海市長に

起さらところに差しないますで、 高額げてが異ない。 おいまない。 ところに差しかい。 なくいまなでした。 ではあり左の後すい。 ではありたとした。 高額げてがまない。 ではない。 ではなな。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではなな。 ではなない。 ではなな。

(上海十一日) 監察官は語る 目撃者の談やピストルー のは兵曹、責生兩事件を行中 からないがある、實地検證 からないがある、實地検證 があるいがある、實地検證 を終つたばかりで詳細はわ でした。 でした。 を終ったがある、實地検證 では、 は、 では、 を終ったがある、 では、 、

今夜退京歸連

犯行の拳銃發見

青島商議會頭

日本人權益擁護を陳情

曜

まぎれ

時四十分頃楊樹浦バイカル路 高瀬安治氏(三七)が午後入 高瀬安治氏(三七)が午後入

ピストルをもつて狙撃され、 電をうけたが同九時絶命した 「上海十一日愛國通」不幸兇 弾に斃れた高瀬氏の死因は總 弾に斃れた高瀬氏の死因は總

高瀬氏の原籍

抗日テ

現住所は神戸市 現住所は神戸市

政府軍增援を得て

反撃に轉ず

人の子供がある

中山萱生事件と

をもつて寺崎領事に桃源里事政府秘書長は午後九時半電話

背後關係か

てゐました

、矢庭に支那人兇漢に料理店新船に入らんと

特大阪より入港した

日本船員殺害さる

【東京國通】又復上海に勃發 ・ 大京の事件に動する實任措置が ・ 大京で安東へつ」あるは從 ・ 大京で安東へつ」が ・ 大京で安東であるは ・ 大京で安東であるは ・ 大京で安東である。 ・ 大京である。 ・ 大京でなる。 ・ 大京である。 ・ 大京でなる。 ・ 大京

那側の不誠意により容易に進 としてある、しかし頻酸す したしてある、しかし頻酸す したしてある、しかし頻酸す

八兇漢に狙撃され

上海で抗日テロ

度を示し日支交渉は依然展開離の模様である、すなはちり内諾を興へてゐた諸問題について承認を避るが如き態支那側の態度は相當强硬なものがあり、從來の折錮によ川魑駐支大使より外務省に公電があつたが、仄聞するに川魃駐支大使より外務省に公電があつたが、仄聞するに「東京國通」十日の川越、張翀會談の內容は十一日午後

重ね

日本側では支那側が諸般の情勢を利用し故意に交渉の日本側では支那側が諸般の情勢を割してゐるが、一部ではいては强硬論があり、また交渉當事者を苦境に陷れんとする策動があり、また交渉當事者を苦境に陷れんとする策動があるので日本側でもこの國内情勢につき充分考慮を加へられたい

た後具體問題の交渉に入つたが、北支、防共の兩問題はと、縷々として支那側の衷情を訴へ日本側の同情を求め

窓度如何は頗る注目されるとに基く模様でに日本側の態度が軟化したと誤認したことに基く模様では日本側の態度が軟化したと誤認したことに基く模様で

帝國 政府部

2 手以

日二十月一十

TAVANNES タルン TRUSTY 編問翻刺用線也跨 統中谷時計启和

に入り承徳經由北平へ向ぶ管へ寫眞を一時十分緩あじあで離京する、同

津

北鳥壽

支氏

白鳥瑞典公使に 歸朝命令

て文書をもつて吳磯城市長に超言を述べ、午後十一時改め置言を述べ、午後十一時改め

ること

氏はかねてより

喜一氏(官吏)同太陽國ホテル

でも、選集職に最も有力な武を見かって來た。その中

人々は大騒ぎをした。そし

は、後古の手を握った。 なこそばの真里子を ない。なこそばの真里子を

三二一場 階階階所

ん、あなたは高山

無確人民族公歌候補、鬼 無確人民族公歌候補、鬼 無確なの感激だ!」

右御希望の御和十

附屬地憲兵分隊南門前

電我 五番地

話 **3**甲

=

Ξ 五治

新京蓬萊

、鳥歌

新築デ

ト販賣店並住宅希望者求む

京の後はいる。

再び對支强硬論擡頭

川越、張會見で内諾の承認を澁る

支那側の態度注目

【東京國通】スエーデン公使



丘線、十銭、五十銭さ、賞 中から拾ひ出した實玉のやう 中から拾ひ出した實玉のやう は、五十銭さ、賞

さう呼ぶさ、一同はガツカリー宮護黎委員長が、悲痛に一宮護黎委員長が、悲痛に

来た!』

『白川君が美人をつれて來た

総選撃レビウ(一)

(百九十六)

人々はその方を振り向

事往來

湿辰雄氏(闘東州艦長鬼氏(同)同

京總領事代 ハルピンへ

相褪氏(外交部囑託)

デル (陸軍少佐)同

(大阪産業能率

の日く

頭、ものになれば青嵐居士 新しく悲痛な色が一堂に飛 投げつけるやうに答へた。

『印刷費はまだごの位いるんつた。 『英三百圓が吾々には大變だ 三百 三百圓は優にいる

「諸君! 萬里子さんは、ことに新しく同志さなって、自分の夫である高山齊君に跳抗して堂々さ夫君に向って壊上か て拍手が爆製した。 そし

嵐の如 き萬歳の歌

13 新内流しの名バンドでハリキッテ踊つて下さい 皆さまの熱望に依り再び コミックワルツアンド 戀の新内流しの夕 エクセントリック ジョー

デ谷

日本領事館 誠堂 電話(3)四七二五番 前(東三 醫 通

評判のタップダンスを是非!

一月十五日午 交通道德振興旬間應接 主 合同ティ・ダ 時 + 公會 ンス・パ 11 四 時 テし

石氏(楡樹縣公署)

ル (煤鐵公司) 同 同奉天へ たけの金を投げ出して印刷したな愛用がかいる、最初、有 たのだが、それはその三分の 一の必要を充たすだけだった 高山派なさは新しく帝國新聞 高山派なさは新しく帝國新聞 器は推薦状だ。が、しかし、

即氏同四平省へ

開

各科專門醫擔當

『金を作って印刷物を取りに対筒をかく手をやめた、人対筒をかく手をやめた、人 は後はごうする? を であった。

言語君・満堂の諸君・人

んな激語をす

『俺の娘を女郎にたゝき賣る

あ

3

西

之

8

大型十量用一四、五〇 小型八量用一四、五〇 小型八量用一四、五〇 電話(3) 元に音

日露戦直後進出の声

青生ツポ式の吉本滿重氏

の性格にはどうして

守一完璧を期するため首都警察應 同署に置き待機する團員は直 管下各警察署では十二日午後 ちに現場に急行、敏活な行動加 管内防護團員約五百名を總動 によつて大混亂に陥つた避難が 後 行 演習を實施 した、この る一方混雑せる街頭は交通班 が る大經路警察署では午後一時 良好の成績裡に終了したが、の 新市場附近を中心に敵飛行機 同様四道街警察では防夷流動 はの想定に基き、防護團本部を 施された

ひごのみち建物の

所有權問題に疑

大林組員で、奉仕員を召喚取調

十二日早朝大林組中島書記長

| 受目下取調べ中である

新京事務局防護團

十四日結團式

名譽團長以下幹部も決定

一、十一月十四日新京防空演 型實習の爲め區本部全員出 動す但別に召集狀を發せす 六本部員は午前八時二十分 六本部員は午前八時二十分

告人の審理を了へ十五日午後 にれて判決言渡しは十六日以 後になる模様である 海軍定期大異動

日内命

主なる將官級の異動

任大使館一等書記官 イラシス在動を命ず 公使館一等書記官(エチオ ビア) 佐外務書記官 会木 九萬 任外務書記官 会木 九萬 任外務書記官 (ボルト 原部 種樹 任外務書記官 (ボルト 原部 種樹 外務書記官 柳澤 健 所四部長 明部司令官 日比野正治 日比野正治

心部司令官前田

字 整 歌 願 司 令 官

海軍少將 并澤 春馬 海軍少將 谷本馬太郎 海軍少將 谷本馬太郎 一戰隊司令官 (以下朝刊)

盛况裡 大會 に終る

日午後一時から軍人會館にて國防婦女會首都支部では十二

支部初役員會

國防婦女會首都

業に側面援助をなすべく十一 は協和會では普齊會の社會事 は関ることに内定し近く之を に則ることに内定し近く之を 的助成金の交付、阿片吸飲者 會議室に於て開催、部内關係の財團普灣會の民政部案打合 | 茶軍警の殉職遺族に對する|| 減を目的とする禁煙運動、 書は日本赤十字社の社員制料長出席討議の結果、資金 マニ野撃殺高崎市における學 東北地方古跡調査のためで日 東北地方古跡調査のためで日 で、東京國通)東京帝大名譽教 支部事務所、役員分擔等を決支部結成後初役員會を開催し

市ケ谷仲之町の自宅で療養中三日前から風邪氣味で牛込區 -一時廿分心臓痳痺

大量の御注文に應ず

安價調製致し 氣カ 松田テント商行 テ ン各種高大尺 Ī 一個 金三十二錢

追悼會御参會御禮

木

電話(2)一五八七番

半 フランスビフ スキヤキラン サンドウヰッチ ホットサンドウキッチ 東京ざうに 60 しるう 電話③三一二八

大カフェー

市内目拔の場所

大力フェー 【日下庭業中都合により課度

三浦新

验話(3)三四九五番 聞店

四日午後六時から市内盟主催市民詩吟劇舞大 充分に精神作興

> 授脳盗血で卒倒 黑板東大名譽教

> > 雑誌が六冊讀めます

東三條通三八

星光社巡廻

雜誌部

十二月號直あに配本

脅迫専門の 偽刑事捕はる

では、 一型化し酸は通關業務を目的と では、 でででは、 でででででである。 でででは、 でででできまする。 ででできまする。 ででできまする。 ででできまする。 ででできまする。 でできまする。 でできまする。 でできまする。 できまする。 できる。 できる。

滿洲製藥

日滿運送業者提携

本の 本の 本の 本の 本の で阿片中毒に罹つてるたか が市内某自動車器具商に雇は が市内某自動車器具商に雇は が市内某自動車器具商に雇は

新京詩吟會

同谷奉仕員認む

認めて居る、引續き十二日奉書とのべ同教團の根據なさをかべ、入をしへは確に大衆を

劍舞大會に引

新京衛戍病院は

あす (中三日)

▲ 協和會各分會日系寄年談話會、午後一時、軍人會顧第一 一文教部觀學官打合會讓第一 日、午前九時、文教部會讓 全 全 全 大學兵送別會開催打合會。 職、午後一時、ヤマトホラ 全滿體育關係者連絡打合會 二十分、通夜於太子堂 二十分、通夜於太子堂 遺骨七十體着京、午後三時 一時、沙鐵事務局大會

となつ

坂本三郎氏、 氏其他出演の諸 てこれを機會に 彩病柳花·敏一科外 器應該展院入·斜病門胚

める、豐富な資力と細心のなった隣同胞青年にとつても締

するのは交通難だ、何時までも馬草、洋車で徒らに馬糞のるまい、それかと言つてタケ

障害と打勝つて自己の信

化都かな業に生は心

濟會打合せ

民德沢廣

◆七・○○長明「陸機帶」(東京)松島庄三郎外▲七・二五
京)松島庄三郎外▲七・二五
京)松島庄三郎外▲七・二五
京)松島庄三郎外▲七・二五
京)松島庄三郎外▲七・二五 今晩の主なる演藝放送

讀書のシーズ ガネで心ゆく 中山眼科醫院 和識眼科醫院 科醫院 ンが参りまし ガネと双眼鏡は 正確なメ 店 定 清 支 本 店店 新京吉野町二丁 電話の三二九二 眼

持参本人來所ありたし 來る十一月十四日午後四時迄履歷書 邦文タイピスト一名募集 新京商工會議所

宿

四量半、 三十五圓より 新京日本領事館西側 六疊あり 朝夕二食付

市内三笠町赤木洋行主長男故市内三笠町赤木洋行主長男故れたが長春草創時代かれたが長春草創時代か

赤木寬城氏法要

雜誌 丸 一四六九番

電話照會へ御斷リ

持參午後四時迄來社) の制度あり)熟練者にして温健なる 人を求む、詳細は面談(本人履歴書 外

月給百貳拾圓程度(莫大なる賞與金) 一大一ド新車地方行(鐵道沿線)

京小

御

見

削

つて

古の巨然属

四甲

华

京

日活オー

朝日座

が浮いてね…餌はゆで始が深いてね…餌はゆで始めてないとあたしの勝手ぢゃ

將軍曉に死す な詩情の中に浮彫する

あなれとでは、 電の一味が構っている なれるでは、 でいる。 でいる。 では、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい

長春座

ルスター出演 場 の競映 主演 間 と慄戦な様るまづ息!闘戰の林密ゴンコ地蕃るれは洗て血鮮 』作傑だん込折を味快

世界の魔境コンゴウに展開する血を血でに展開する血を血でに展開する血を血で、戦やと響くドラムの音と闇をつんざぐ猛がの咆哮の中に冒険がある。 咬する百獸と五千の土 闘爭映畵! 人と血みどろの黑人 コンゴウの南 興味最大篇!! ス スン 咆 演主 監 脚原 督 色作 村上德三郎 牛原 歌川八重子・加藤精一・園枝幸子 小宮一晃・若葉馨・ 共 演 井 虚音 哀しい精末に泣いた若き二人の戀!! 運命が壽しくも咲かせた愛のらて なに結ばれる いふ淚と笑の高田映畵最近の傑作です 市川男女之助第三回主演 新興キネマ京都撮影所特作 オール設物所敬 監督押本七之助 白石明子·國友和歌子·高松昌子助演松本泰輔·原聖四郎·松本田三郎·荒木忍 祭日は午前十一時から

療

か花

きも

5

卸小賣 西

新京新發北胡岡 店

あられ各

良い品を明るい店で

兒表品的

產

川尻電・ニニュー番

電業公司特約

明日雨

篠崎商會

特二方勉強致シマス三圓ヨリ団体月極ハ

長春醫

院長 徳 丸スガ

電子六二四一番

新京神社ノスグ前

婦 基 人 科科

堀

山

醫

院

產婆派遣意

主任產姿

栗

原

和

(分娩室、手術室、病室完備)

電話三・三一八〇